

平成27年4月の改正学校図書館法の施行にともない学校図書館司書の配置に変化が起こりつつあります。今回「学校図書館を考える・シリーズその14<学校図書館担当職員(学校司書等)に関するアンケート>」にて、制度の変更予定があるとされた7市町(鹿沼市、真岡市、益子市、茂木町、野木町、塩谷市、大田原市)にアンケートを行い、ご回答を頂きました。また、大きな変化があったと思われる益子町、野木町、小山町の3つの教育委員会に、2018年9月から10月にかけてアンケートを行い、現状をお伺いして頂きました。ご協力に感謝申し上げます。司書配置の状況に変化があったにもかかわらず、見落としてしまった市町もあるかもしれませんが、私たちが把握している状況をお知らせいたします。

- ・3市町の学校司書の職務内容>
- ・司書教諭のサポート、選書や授業で使用する本の提供、本の受け入れ、配架、廃棄、メンテナンス
- ・図書館だよりの発行、図書委員会や読書週間などへの協力

<益子町>

1	配置状況 いない場合は誰が?	平成28年1月回答 いない	平成30年9月末現在 平成30年4月～2名
2	職名	司書教諭	学校司書
3	身分		司書または司書補
4	採用時の資格要件		複数校兼務
5	学校図書館館長の配置形態		4校 / 4校中 3校 / 3校中 小・中学校合わせて 7校を2人で担当
6	担当職員の配置校数 小学校 中学校 中学校 中学校		小中学校の区別なく3校、4校を2名で担当
7			月曜日～金曜日 7時45分
8	勤務日数と勤務時間		1年 なし
9	雇用契約		なし
10	雇い止めの有無		今年度中に司書教諭と司書の研修会を予定
11	教育委員会主催の研修		なし
12	学校図書館担当職員の選任方法の有無		平成29年6月から 学校図書館の充実を図り児童生徒の豊かな心を育むため
13	配置目的		国からの要望「1.5校に1名の配置」に沿って
14	配置理由		なし(検討中)
15	有給休暇		あり
16	報酬		月額200,000円(賞与:50,000円/年2回) 社会保険(健康保険、厚生年金保険) 労働保険(労災保険、雇用保険)
17	社会保険		なし
18	公立図書館から学校図書館への人的支援や選書等の有無		なし
19	平成27年4月の改正学校図書館法の施行にともない学校図書館の増設の有無		なし
20	平成27年4月の改正学校図書館法の施行にともない学校図書館の増設の有無		平成29年6月から配置を開始
21	平成27年4月の改正学校図書館法の施行にともない学校図書館の増設の有無		検討中
22	補足		<ul style="list-style-type: none"> ・司書配置二目目に伴い、マニュアルについて今後作成予定 ・益子町には町立図書館がないので学校図書館との連携はなし ・連絡先がないため、他校の職員とは学校の電話等で連絡を取っている

<野木町>

平成28年1月回答	いる	平成30年9月末現在	平成29年4月1日～7名
学校図書館司書	学校図書館司書	学校図書館司書	学校図書館司書
非常勤職員	非常勤職員	専任(1校1名)	
司書	司書		
司書4名中、3名は複数校兼任(それぞれ2校を2日ないし3日ずつ巡回)1名は1校専任	5校 / 5校中 2校 / 2校中 小・中学校合わせて 7校を4人で担当	5校 / 5校中 2校 / 2校中 5人 / 5校中 2人 / 2校中	通5日、1日6時間勤務 通5日、1日5時間30分(30分休養含む) 10時～15時30分(30分休養含む) (ただし、8月は勤務を要しない)
2名中学生が1名、中学校を兼任、1名が小学校のみを兼任、1名は小学校専任	1年	1年	1年
あり	あり	あり	あり
なし	なし	なし	なし
平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度
学校図書館、学校教育の充実のため	学校図書館、学校教育の充実のため	学校における学校司書の重要性が高まってきたため	学校における学校司書の重要性が高まってきたため
あり	あり	あり	あり
あり	あり	あり	あり
時給780円(4月～6月) 時給800円(7月～3月)	時給860円(平成29年4月～) 年2回割増金あり	時給830円	時給830円
雇用保険	雇用保険	雇用保険	雇用保険、厚生年金、健康保険(5時間勤務は雇用保険のみ)
学校運営費として、町立図書館より小学校へ300～400冊の貸出を委託(半年に1回の入替え)その他、小中学校全校に図体貸出を行っている	学校運営費として、町立図書館より小学校へ300～400冊の貸出を委託(半年に1回の入替え)その他、小中学校全校に図体貸出を行っている	平成25年から配置、1名ずつ増員した結果(125年2名、126年3名、127年4名、128年5名、129年7名)	平成25年から配置を開始
平成28年4月より、現在4名から1名増の5名で初年度			
平成30年度より野木町教育研究会に参加、学校図書館司書部会として活動			

<小山町>

平成28年1月回答	いない	平成30年10月末現在	平成29年4月1日～36名
司書教諭、ボランティア、その他(司書、生徒、学校事務職員)	司書教諭、ボランティア、その他(司書、生徒、学校事務職員)	司書教諭、ボランティア、その他(司書、生徒、学校事務職員)	司書教諭、ボランティア、その他(司書、生徒、学校事務職員)
学校事務員	学校事務員	学校事務員	学校事務員
臨時職員	臨時職員	臨時職員	臨時職員
司書資格があるのは誰、可	司書資格があるのは誰、可	司書資格があるのは誰、可	司書資格があるのは誰、可
(学校事務との兼務で)1校1名	25校 / 25校中 11校 / 11校中 25校 / 25校中 11人 / 11校中	25校 / 25校中 11校 / 11校中 25校 / 25校中 11人 / 11校中	ただし、司書資格を有する職員は3名(中学校)
通5日 7時45分～5時30分(2時間)	通5日 7時45分～5時30分(2時間)	通5日 7時45分～5時30分(2時間)	通5日 7時45分～5時30分(2時間)
半年	半年	半年	半年
なし	なし	なし	なし
平成29年度	平成29年度	平成29年度	平成29年度
学校図書館、学校教育の充実のため	学校図書館、学校教育の充実のため	学校図書館、学校教育の充実のため	学校図書館、学校教育の充実のため
あり	あり	あり	あり
あり	あり	あり	あり
時給830円	時給830円	時給830円	時給830円
雇用保険、厚生年金、健康保険(5時間勤務は雇用保険のみ)	雇用保険、厚生年金、健康保険(5時間勤務は雇用保険のみ)	雇用保険、厚生年金、健康保険(5時間勤務は雇用保険のみ)	雇用保険、厚生年金、健康保険(5時間勤務は雇用保険のみ)
関連団体等 ・社会科見学を受け入れ ・子ども図書館貸出センター ・移動図書館	関連団体等 ・社会科見学を受け入れ ・子ども図書館貸出センター ・移動図書館	関連団体等 ・社会科見学を受け入れ ・子ども図書館貸出センター ・移動図書館	関連団体等 ・社会科見学を受け入れ ・子ども図書館貸出センター ・移動図書館
なし	なし	なし	なし
平成28年から配置を開始	平成28年から配置を開始	平成28年から配置を開始	平成28年から配置を開始
なし	なし	なし	なし
学校事務員としての採用なので司書業務との割合は不明	学校事務員としての採用なので司書業務との割合は不明	学校事務員としての採用なので司書業務との割合は不明	学校事務員としての採用なので司書業務との割合は不明
小山町立中央図書館館長の研修を3回行っている(司書教諭の参加はなし)	小山町立中央図書館館長の研修を3回行っている(司書教諭の参加はなし)	小山町立中央図書館館長の研修を3回行っている(司書教諭の参加はなし)	小山町立中央図書館館長の研修を3回行っている(司書教諭の参加はなし)

<学校司書が入って良かった点>

- ・図書室の環境整備が充実...古い本の廃棄、図書室のレイアウト、整頓、飾り付けなどが進んだ
- ・図書室の利用率、貸出率が増えた、司書教諭だけでは手がまわらない部分を補える
- ・図書館の運営は、専門知識を持った司書が行うことが望ましいと考えます。司書資格を持っていても事務職との両立は難しいでしょう。専任で学校司書が配置された学校には、より大きな変化が理れています。
- 各市町へのアンケートを通じて、司書の配置による学校図書館の充実、子どもたちの教育環境がより良いものになると実感しました。しかし、学校司書は「授業への参加(ブックトークなど)は基本的には行っていない」「地域ボランティアによるお話しや連絡はしていない」「読み聞かせなどは行っていない」ということもありました。学校図書館の「読書センター」としての機能を強化する上で、学校司書がブックトーク、お話しを行うことは大変重要なことです。学校司書の活躍が期待されることです。